

ダイバーシティ能力検定

Diversity Capability Certification

®



ダイバーシティ能力検定®

Diversity Capability Certification®



ダイバーシティ能力検定®は、見えなかった「人間力」を可視化する、多様な時代を生き抜くための、新しい「ものさし」です。

ダイバーシティ能力検定協会が主催するこの検定は、現代社会の必須教養である「ダイバーシティ&インクルージョン（多様性と包摂）」を、どれだけ理解し、行動に移せるかを測定するオンライン検定です。

ビジネスや社会生活において、多様性はもはや避けて通れないテーマです。この検定では、単なる知識だけでなく、「多文化共生」「人権」「SDGs」「ダイバーシティマネジメント」といった幅広い領域を包括。これからの時代に求められる「生きる力」や「対人基礎力」を客観的に評価・認定します。



ダイバーシティ能力検定®

予習不要の学習型

受験すること自体が学習になる設計で、D&IやSDGsの知識・実践力をその場で深められます。

幅広いテーマと活用

人権、多文化共生、マネジメントを網羅。個人だけでなく、企業研修や学校教育にも最適です。

受験が社会貢献に

合格証でスキルを証明できるだけでなく、収益は社会課題の解決支援に役立てられます。



ダイバーシティ能力検定®とは

学びながら多様性を深めるオンライン検定

ダイバーシティ能力検定®は、ダイバーシティ能力検定協会によるオンライン検定です。この検定は、現代社会で注目を集める「ダイバーシティ&インクルージョン（多様性と包摂：D&I、DEIB）」に対応するために設計され、受験を通して「ダイバーシティ能力」の評価を行います。多様性を尊重し、平和で持続可能な社会を築くための一助となるダイバーシティ検定です。

多様なテーマをカバー・多彩な受験者に対応

ダイバーシティ能力検定®は、ダイバーシティマネジメント、多文化共生、人権、SDGsといった幅広いテーマをカバーしており、「多文化共生能力検定」や「人権能力検定」としても活用されています。個人受験はもちろん、企業、学校、大学などの団体受験にも対応しており、職場や教育現場など多岐にわたる場面で役立つ検定です。

学びながら受験できる新しいスタイル

ダイバーシティ能力検定®は、特別な事前学習を必要とせず、受験中に学びを深める設計となっています。受験者は、ダイバーシティの知識と実践力を磨きながら、社会での活躍に必要なスキルを育むことができます。合格者には、ダイバーシティ能力検定®認定証が授与され、公式にそのスキルを証明することが可能です。また、検定の収益は、多様性の軽視による社会問題の解決支援に充てられており、持続可能な社会実現に貢献しています。



ダイバーシティ能力検定®の魅力

多様性尊重と促進



ダイバーシティ能力検定®は、さまざまな背景や文化、性別、能力など、個々の違いを尊重するための力を養います。多様性を尊重することで、職場や社会全体に包摂的な文化を築き上げることが可能です。

職場の生産性向上



多様な視点とアイデアが生まれることで、イノベーションや問題解決能力が向上します。ダイバーシティ能力検定®を通じて、職場の生産性向上と競争力強化が期待されます。

社会的課題の対応



ダイバーシティ能力検定®は、偏見や差別の減らし、平等な機会提供を目指しています。社会的課題の解決を支援することで、社会全体の成長と発展に寄与します。

自己認識の向上



ダイバーシティ能力検定®を受けることで、自身のダイバーシティに対する理解が深まり、他者との関係性が強化されます。検定合格は、ダイバーシティの知識と認識を持つ証として社会に示すことができます。

企業の信頼性の向上



ダイバーシティ能力検定®を取り入れる企業は、多様性と包摂性を重視していることを示すことができます。これにより、顧客や従業員、投資家の信頼性が向上し、企業ブランドの価値を高めます。

ダイバーシティ能力検定®の魅力

検定名称	ダイバーシティ能力検定®
実施形態	オンライン
使用言語	日本語（英語対応も可能）
受験資格	どなたでも受験可能
出題形式	選択式・50問：D&I基礎知識テスト（インプット）+10問：行動実践・判断力チェック（アウトプット）+学習成果の復習（メタ認識）
試験時間	目安60分（時間制限なし・計3回までチャレンジ可能）
出題範囲	ダイバーシティ&インクルージョンに関する基礎知識
申請日程	随時受験可能・随時受付中
申請方法	基本的にインターネット申請のみ（団体申し込みの場合は事務局にお問い合わせください）
受験制限	受験は初回含め3回まで可能。ただし24時間内に限りまます。
合格基準	正解率60%以上
結果通知	受験・学習終了直後に判定・受験者が確認できる
合格認定	ダイバーシティ能力検定®認定証を発行されます
実施組織	ダイバーシティ能力検定®協会



ダイバーシティ能力検定®オプション etc

講演会・研修会の講師派遣



企業や学校などの組織でダイバーシティ能力検定®を実施する際、オプションとして講演会や研修会も開催可能です。テーマはダイバーシティの他、多文化共生、人権、国際理解、SDGsなど幅広くご提供いたします。講師には、大学教授や研究者、タレントなどの専門家をご紹介します。詳細は事務局までお問い合わせください。

企業・学校・大学等のオリジナル検定作成



企業や学校、大学向けに、オリジナルのダイバーシティ能力検定®の作成をお手伝いします。組織のニーズに応じた設問を加え、担当部門と協力しながらオリジナルの検定を設計します。問題作成から検定の実施、認定書の発行まで一貫して対応いたします。ご相談は事務局までお気軽にどうぞ。

社会貢献活動への参画



ダイバーシティ能力検定®の受験料収益は、多様性を軽視することで生じる社会問題の解決に活用されます。検定を受験し、認定書を取得することが、社会貢献活動の一環となります。具体的な活動については公式ホームページで随時お知らせします。

団体割引など



より多くの方に受験いただけるよう、検定料は抑えた設定となっています。また、団体での受験には割引もご用意しています。予算に合わせたご提案も可能ですので、お気軽に事務局までご連絡ください。



ダイバーシティ能力検定®受験プロセス



ダイバーシティ能力検定®の受験・学習プロセスは、以下のとおりです。

検定申し込む



受験用パスワードとIDを受け取る



受験・学習する



ダイバーシティ能力検定®認定証を受け取る



まず、検定の申し込みを行います。お申し込みが完了し、お支払いの確認が取れると、次のステップに進むことができます。

申し込みと支払いの確認が完了次第、事務局から登録されたメールアドレスに受験に必要なIDおよびパスワードが送信されます。

受験者は、受け取ったログインデータを使用して、**1ヶ月以内**にオンラインで受験および学習を行います。スマートフォンでの受験も可能ですが、可能であれば最新型のパソコンを使用することを推奨します。

合格者には、「ダイバーシティ能力検定®認定書」が付与されます。不合格の場合でも再チャレンジが可能です。受験は学習を兼ねているため、受験を通じて学習を深め、次の挑戦に備えてください。受験は初回を含めて**3回まで**可能です。



ダイバーシティ能力検定®協会

Association for Diversity Proficiency Examination®

Web <https://diversitycertify.com>

E mail inquire@diversitycertify.com